

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名	千葉県袖ヶ浦市
本事業の担当部局名	企画政策部 市民協働推進課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分		一般メニュー						
関連事業メニュー		1.1.3 出会いの機会・場の提供に関する取組						
個別事業名		袖ヶ浦市結婚支援事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和5年度
総事業費(A)(円)		980,200		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	270,000		差引額(A-B)(円)	710,200
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		980,200						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	16,000	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	16,000	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	964,200	0	0	0	0	980,200	
	対象経費支出予定額	964,200	0	0	0	0	980,200	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 本市では、将来人口を推計した「人口ビジョン」において、合計特殊出生率を1.45(2015年)から1.74(2025年)までに上昇させる指標を設定するとともに、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、結婚・出産・子育ての施策を4つある基本目標のうち、第一の基本目標として掲げてその施策に沿った各種事業を実施している。 しかし、婚活イベントの実施や結婚相談事業のみとなっており、結婚に至るまでの支援を行う取組が不足している。 <本個別事業の位置付け> 結婚に至るまでの取組として、男女のマッチングを目的とした婚活イベントや講師による婚活スキルアップセミナーを並行して実施し、また、それらの参加者へフォローアップ相談や市結婚相談所の登録を促進することにより、継続的な支援を行う。						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	婚活イベント	・公共施設でのポスター掲示、HP、SNS、市内企業へのチラシ配付等により広く周知・広報し、婚活を希望する年代やその親族等への事業の認知度向上を図る。 ・年代別の婚活イベントを計3回開催し、より多くの結婚希望者へ出会いの場を提供する。 実施回数:3回 参加予定人数:男女各15名×3回					
	2	婚活スキルアップセミナー	・婚活イベントと併せて、講師による婚活セミナーを実施し、身だしなみやコミュニケーションスキルアップを図る。 ・参加者から事前に質問を受付けし、講師へ聞きそびれることを防ぎ、不安要素を可能な限り軽減した状態でイベントに参加できるよう配慮する。 実施回数:3回 参加予定人数:男女各30名×3回 内容:婚活の心構え、コミュニケーションスキル等					
	3	支援体制	相談員等による参加者の事後支援体制を整備する。婚活イベント及びスキルアップセミナーの参加者をリストアップし、継続的な出会いの場の提供及びボランティア等によるフォローアップを行う。 日程:随時・婚活イベント時 内容:・ボランティア等による相談会 ・参加者を対象としたお見合い ・(市内在住、在勤者)市結婚相談所への登録促進 ・(イベント時)参加者への後押し					
10								

＜過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)＞

令和6年度はクリスマスやバレンタインの季節のイベントに併せて1日限りの婚活イベントを実施した。イベント当日は参加申込者から当日キャンセルが生じたため男女比に偏りが生じた。また、婚活イベント終了後のアンケートの結果、メインプログラムとしていた内容に賛否両論があったことに加え、開催方法について1日限りのイベントを望む声が多かった。
そのため、令和7年度は令和6年度と同様に1日限りのイベントを開催する。また、参加者全員がこの日だけの仲ではなくその後発展するような関係性を築いてもらうため、参加者同士が協力するメインプログラムを企画し、より多くの結婚希望者に出会い・交流の機会を提供することでカップリング数の増加につなげ、その後の婚姻率、出生率の向上を図る。併せて、イベント当日に参加者向けに開催するスキルアップセミナーについては、今までは参加者から講師に対して聞いてみたいことや相談したいことを事前に聞き取りをしていなかったが、令和7年度はイベント前に聞き取りをし参加者がイベント中に不安要素を軽減した状態で参加してもらえる取組を行う。加えて、イベント最中やイベント後に後押しとなる相談会の開催や、結婚相談所の登録を促し、継続的な支援を行う。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		%	1.76	1.38 (R5)
	結婚支援事業をきっかけとする婚姻件数		組	6	3 (R5)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.38 (R5)	
	婚姻件数		件	556 (R5)	
	婚姻率			8.5 (R5)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	イベント参加者の人数	人	90	23 (R5)
	②	セミナー参加者の人数	人	90	61 (R5)
	③	うちボランティア等の支援を受けた者の割合	%	85	30 (R5)
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	100	100 (R5)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	100	-
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	④	婚活イベント: 引き合わせた成立者	人	20	12 (R5)
	⑤	婚活スキルアップセミナー: 受講後、婚活に対し自信がついた参加者の割合	%	85	70 (R5)
	⑥	事後支援: ボランティアの支援を受けた者の満足度	%	100	100 (R5)
	⑦				
	⑧				